



2026年10月8日

鈴与商事ニュースリリース

鈴 与 商 事 株 式 会 社
経営企画部長 廣本 剛三

静岡県と「しずおか県産材利用促進協定」を締結

鈴与商事株式会社（本社：静岡市、代表取締役社長：伊藤 正彦、以下「鈴与商事」）は、2026年10月8日、静岡県と「しずおか県産材利用促進協定」を締結しました。

本協定を通じて、リフォーム事業をはじめとする事業活動において県産材活用を推進し、地域林業の振興および脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

■ 背景と目的

静岡県は県土の約6割を森林が占めており、その大半は人工林（人の手で植えられた森林）です。これらの人工林の多くは木材として利用可能な成熟期を迎えており、森林資源の循環利用を進めることが求められています。県産材を積極的に利用することで地域の森林整備が進み、適切に整備された森林は、水源涵養や土砂災害の防止など、森林が持つ多面的な機能の維持・向上にもつながります。

このような背景のもと、静岡県では事業者と連携し、県産材利用の拡大を図る「しずおか県産材利用促進協定」を推進しています。本協定は、事業者が県と連携して県産材の利用拡大や普及啓発に取り組むことで、住宅や事務所といった建築物における木材利用を促進することを目的としています。

鈴与商事は、本協定に基づき、住宅・事務所におけるリフォームにて県産材活用を提案するとともに、当社およびグループ会社の社屋の新設・改修時において県産材の活用を積極的に推進いたします。また、静岡県と連携して県産材利用の意義や取り組みに関する情報発信を行ない、地域資源の有効活用を通じた持続可能な地域社会づくりに貢献してまいります。

■ 「しずおか県産材利用促進協定」締結式の様子



前列左から1人目：鈴与商事 取締役 菅野 敦、前列左から4人目：静岡県 副知事 平木 省（敬称略）

■ 鈴与ホームパルについて

「鈴与ホームパル」は、鈴与商事がリフォーム事業で展開するブランドです。静岡県を中心に山梨県・長野県・愛知県において9店舗を展開し、年間2,000件以上の工事を手掛けています。

このうち、「東静岡ショールーム」は、キッチン・バス・トイレなどの住宅設備を実際にご覧いただける拠点です。受付カウンターには県産材を採用しており、お客様が木材の質感や温かみを直接体感できる、県産材活用の提案を実践する場としています。

URL：<https://www.homepal.jp/>



鈴与ホームパル 東静岡ショールーム（静岡市葵区長沼 897-2） 県産材を活用した受付カウンター

■ 会社概要

鈴与商事について

鈴与商事株式会社は、石油・ガス・電気といったエネルギーの供給に加え、太陽光発電・蓄電池・CO₂可視化サービスなど、お客様の脱炭素化に資する商材やサービスを提供しています。また、建設資材や化学品、製造現場の省人化・自動化および事務所内の業務デジタル化を支援するソリューション提案など、総合商社として様々な商材やサービスを展開しています。

U R L : <https://www.suzuyoshoji.co.jp/business.html>

以上

《本件に関するお問い合わせ》

鈴 与 商 事 株 式 会 社

経 営 企 画 部

0 5 4 - 2 7 3 - 7 8 3 2

s-info@ss.suzuyoshoji.co.jp